

9/19 朝日

介護業界「辞めたい」14%

月給制の職員 2年前調査の1.5倍に

月給制で働く介護職員の14%が介護の仕事を辞めた
いと/or ている——。介護職員らの労働組合「日本介護クラフトユニオン」の調査で、こんな実態がわかつた。2年前の前回調査から1・5倍近く増えた。ユニオンは「賃金の上がり幅が小さく、将来に不安を持つ

人が多いのではないか」と
みている。

調査は月給制と時給制で
働く組合員計4302人を
対象に、今年3~4月に実
施。2994人(69・6
%)が回答した。

「この仕事を続けたい
か」との問いに、「介護業
界以外の仕事をしたい」と
答えたのは、月給制で14・
3%で、前回調査の9・7
%から上昇。時給制でも10
・1%で、前回6・9%を
上回った。

「今の会社で続けたいと思わない理由」を、「介護業界以外の仕事をしたい」「介護業界の違う会社で続けたい」「(どの業界であっても)働きたくない」と回答した人たちに、複数回答で尋ねたところ、「賃金が低い」と答えた人が月給制で56・5%、時給制も51・0%と最多だった。

また、「有給休暇は取得
できているか」を聞くと、
月給制の組合員は「まつた
く取得できない」が10・5
%、「なかなか取得できな
い」が29・6%にのぼつ
た。

(船崎)